

平成19年度
新潟市立笠木小学校
学校教育ビジョン

教育目標
明るく かしこく 生き生きと

重点目標…3 あい活動
かかわりあい 学びあい 高めあい

かかわりあい…相手のことを思いやる言葉遣いができる子を育てます。
「ありがとう」「おはよう」「呼び捨てしない」
学びあい…相手の言いたいことを考えながら聴く子、自分の考えを分かりやすく伝える子を育てます。
高めあい…仲間と一緒によりよいものを目指して活動する子を育てます。

【生徒指導】
基本的な生活習慣の定着を図り、自主的な生活態度を育てる
・進んで挨拶をする ・善悪の区別をつける ・ものを大切にする

学力の向上

基礎基本の確かな定着
多くの児童が、話を聴くことができる。「聴き方」スキルを用いて聴くことができる(8割以上)が、5学年以上に見られる。多くの児童が、発達段階に応じた家庭学習時間(10分×学年)に取り組むことができる。児童取組カードの調査で81%以上が取り組んでいる。

自ら学び自ら考える力の育成
多くの児童が、難しい問題でもあきらめずに考えることができる。児童アンケートの肯定的評価(9割以上)が、5学年以上に見られる。

豊かな心

豊かな心の育成
多くの児童が、友達と協力して活動することができる。児童アンケートの肯定的評価(8割以上)が、5学年以上に見られる。多くの児童が、友達や先生方へ挨拶をすることができる。児童アンケートで友達、教師両方に6割以上できたになる。

いじめの根絶 不登校の改善
多くの児童が、学校生活を楽しいと思うことができる。児童アンケートの肯定的評価(8割以上)が、5学年以上に見られる。多くの児童が、人間関係づくりの能力を高めることができる。児童アンケート(だれとでも声掛け合って遊んでいる)の肯定的評価(8割以上)が、5学年以上に見られる。

健やかな体

体力の向上
体力テストで県平均を上回る種目を増やすことができる。64種目中48種目以上(1・2年-12種目中9種目以上)となる。めあての睡眠時間を確保し、よりよい生活習慣の定着を図ることができる。児童アンケートで、めあてをできる(8割以上)が、5学年以上に見られる。

中野小屋中学校区内の連携
中学校区内の幼・保・小・中の連携強化
・相互の授業公開
・幼保小中共通の取組実施
・学校保健委員会の合同実施など

家庭・地域との連携
・学校評議員による外部の意見聴取と評価(年3回)
・学校だよりの全戸配布による教育活動の紹介
・笠木ふれあいくらぶとの交流

学習基盤の整備
環境整備
・学校田畑による米、野菜等の栽培活動
・体力作りのための空間 時間作り
・安全な校舎内外
地域人材リストの作成と活用
授業力の向上 (OJTの積極的推進)
コンピュータの活用
・HPの随時更新
・コンピュータリテラシーの獲得
特別支援サポート体制の確立
・研修会の実施

自校の教育課題
「生きる力」を培う、バランスのとれた教育課程の編成・実施
・基礎学力の習得徹底と基礎基本の確かな定着
・主体的に学ぶ力の育成
・豊かな心(命を大切にし他を思いやる心)の育成
・体力づくりの推進
信頼される学校づくり
・保護者、地域への説明責任の履行

保護者・地域の願い
・自ら挨拶のできる子になってほしい。
・落ち着いて学習に取り組んでほしい。
・基礎・基本をしっかり身につけてほしい。
・相手の気持ちを考えた言葉遣いをしてほしい。
・家庭と学校が協力して、よい教育を行ってほしい。

児童の願い
・楽しくて分かる・できる授業
・自分のもつよさが認められる学校生活
・仲良く助け合う友人関係
・いろいろな技ができる体、体力

児童の実態
・労をいとわずや作業の仕事を行う。
・体を動かして遊んだり、運動したりすることを好む。
・学力検査の結果が、県・国の平均を下回る。
・固定された人間関係である。
・肥満傾向児童が増加している。

教師の願い
・明るく元気な子供
・自分の考えをもち、主体的に学習に取り組む子供
・最後まで責任をもってやり抜く子供
・豊かな心とたくましい体をもつ子供